



全標協広報

2020 10
NO. 345

- コロナ対策を行って講習等を実施…………… 1
- 未就学児等の交通安全緊急対策…………… 2
- 「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクト …… 4
- 「道路標識設置基準・同解説」等の発行と勉強会… 5
- 北陸支部事務所移転のご案内…………… 6
- 会員紹介(宇都宮塗料工業)…………… 10
- 野球の思い出(倉田次長)…………… 11
- お知らせ…………… 12

ご意見をお寄せ下さい！ Eメール:soumu@zenhyokyo.or.jp

「トラフィックサポーター」は、ホームページでもご覧いただけます

発行所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-19 にしかわビル3F（-社）全国道路標識・標示業協会 TEL 03-3262-0836 ホームページ：http://www.zenhyokyo.or.jp/

コロナ対策を行って一部の講習・研修を実施

本年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、合宿形式となる「令和2年度第1回登録標識・路面標示基幹技能者講習」（7月）と「道路標識点検診断士研修」（9月）は中止せざるを得ませんでした。

このような中、全標協は、コロナ対策を行いながら、更新講習等を実施しました。

まず、8月下旬に、大阪（20～21日）と東京（25～26日）で基幹技能者「更新講習」を実施しました。次に、9月11日に、道路標識点検診断士の「再試験」を全国7か所で実施しました。さらに、9月下旬か

ら10月上旬にかけて、大阪（24～25日）と東京（28～29日、30～1日）で点検診断士「特例研修」を実施しました。

新型コロナ対策としては、全標協が「運用ガイドライン」を作成し、受講者は「健康チェックシート」に講習前2週間の体温等を記入しました。

会場では、受付で受講者の体温を測定し、席は間隔を空けて「3密」を防ぎました。講師は、マスクやフェイスシールドなどを使用し、感染防止対策を徹底しました。

写真は、8月の更新講習の状況です。



受講者の検温



講習風景（大阪）



マスク＆フェイスシールド＆透明板の講師



講習風景（東京）

「未就学児等の交通安全緊急対策」について

警察庁交通局交通規制課 課長補佐 大北良弘



(図1 令和元年6月18日関係閣僚会議資料)

はじめに

昨年5月8日滋賀県大津市で発生した園児の交通死亡事故など、子供が犠牲となる事故が相次いで発生したことを受け、6月18日に関係閣僚会議において「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」が決定され、未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路等の安全確保を早急に進めることとなりました。

そこで、本稿では「未就学児等の交通安全緊急対策」の中でも道路交通環境の整備等を中心に説明させていただきます。

1 緊急安全点検の実施に至る経緯

大津市で発生した園児の交通死亡事故については、「未就学児が日常的に集団で移動する経路」いわゆる「散歩コース」において、右折中の普通乗用車と対向直進中の軽四乗用車が衝突し、その弾みで、直進中の軽四乗用車が歩道側に突っ込み、歩道にいた保育園児等と衝突し、死者2名、負傷者14名という重大かつ悲惨な交通事故でした。

これまで、子供の交通安全対策としては、通学路等において関係機関や学校、地域等が連携、協力し、ハード、ソフト両面で様々な対策が講じられてきたところですが、この事故により、園児たちの「散歩

コース」に焦点をあてた具体的な対策の必要性が認識され、早急に取り組んでいくこととなりました。

そこで、この「散歩コース」にフォーカスした対策を実施していく上で、平成24年に京都府亀岡市等で発生した通学路での重大事故を受けて実施した「通学路における交通安全の確保に向けた緊急合同点検」（以下「通学路緊急合同点検」という。）をモデルに、関係する府省庁が協力して、全国において「未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検」（以下「緊急安全点検」という。）を実施していくこととなりました。

2 緊急安全点検の実施要領

通学路緊急合同点検については、文部科学省、国土交通省、警察庁が連携し、全国約2万校の小学校等を対象に実施したもので、各学校が通学路の危険な箇所として抽出した情報を踏まえ、教育委員会が学校、道路管理者及び警察による合同点検を調整して実施するプロセスで行われました。

一方、今回の緊急安全点検については、対象が6万を超える施設に上り、幼稚園や保育所、認定こども園等（以下「対象施設」という。）と種別が様々な上、都道府県をはじめ各自治体でも関係する部局も多岐にわたることから、点検を円滑に実施してい



（図2 緊急安全点検の概要）

く上で、関係する機関が連携して効率的に点検を実施できる要領とする必要がありました。

そこで、検討した結果、実施要領については、図2のとおりとなりました。

3 警察における道路交通安全環境の整備

緊急安全点検の結果については、図2のとおり所管機関において、昨年10月中に結果の概要が集約され、これを踏まえ、関係機関等において対策を具体化し、年度内から順次対策に着手することとされたことから、警察においても着手可能な事業から早急に整備を進めることとなりました。

具体的には、生活道路対策としてのゾーン30の整備をはじめ、未就学児が道路を安全に横断するための信号機・横断歩道の設置、横断時間を確保するための青時間延長、横断歩道などの道路標示の塗り直しといった交通安全施設等の整備等が各都道府県警察において推進されているところです。

昨年10月末現在で、警察における対策必要箇所は約7,000箇所となっており、昨年12月19日に開催された関係閣僚会議において、緊急対策の進捗状況として、道路管理者の対策必要箇所約28,000箇所とともに報告されました。

今後は、対策の早期完了に向けて、関係機関がより一層連携し、特に地域住民等の合意形成を図る必要があると認められるものについては、所管機関及び対象施設の協力を得て、対策の必要性を地域住民等に説明するなど、対策を円滑に推進していくことが必要となります。

おわりに

これまで、幼稚園や保育園における交通安全教育など、未就学児の交通安全対策は行われてきましたが、全国で一斉にこうした取組みを行ったことは今回が初めてであり、対象施設の把握すらも困難な中、未就学児の「散歩コース」を中心とした対策について、多くの関係機関が集まり、協力して進めていったことに大きな意義がありました。

これからの未来を担うかけがえのない子供たちの命を守るために、今後も今回の緊急安全点検等の経験を生かし、関係機関の協力による更なる対策を進めていかなければならないと考えています。

子供の安全な通行を確保するための道路交通安全環境の整備の推進

・道路管理者による対策（対策箇所数：約28,000箇所※）

【安心安全な歩行空間の整備の例】 【生活道路のエリア内の交通安全の例】 【幹線道路と生活道路のエリアの機能分化の例】

●歩道の設置、●防犯灯の設置、●カラー舗装の実施、●ライティングボードの設置、●踏切表示、●交差点改良（右折レーン設置）、●道路標識（歩道・車道）の転写

●ハンプの設置、●球柱の設置、●ライティングボードの設置、●踏切表示、●交差点改良（右折レーン設置）、●道路標識（歩道・車道）の転写

●ゾーン30の整備、●ゾーン入口の明示 など、●信号機の設置、●信号機の色視覚化・LED化

※うち、緊急安全点検結果を踏まえての約23,000箇所

（図3 令和元年12月19日関係閣僚会議資料）

『自転車通勤推進企業』宣言プロジェクト」始まる

副会長 松村みち子

1 「新しい生活様式」で推奨される自転車の活用

新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか収まりません。本年5月には政府の専門家会議が、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践を提言しました。「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」においては、感染の拡大を防止するため、人との接触を低減することが求められています。自転車の活用の推奨もその一つで、国として自転車通勤・通学の一層の推進を図ろうとしています。

法的な根拠となっているのは、2016年12月に成立した自転車活用推進法です。2017年5月1日には自転車活用推進法が施行され、それに伴い同日付で国土交通省に「自転車活用推進本部」が設置されました。2018年6月には自転車活用推進計画が閣議決定されました。なお計画策定に際してのヒアリングで全標協が取りまとめた要望・提案は、自転車活用推進計画に反映されています。

2019年4月には官(自転車活用推進本部)と民間団体による組織「自転車活用推進官民連携協議会」が発足しました。全標協も構成団体の一員に加わっており、副会長の松村が担当窓口となり対応しています。協議会では自転車の活用推進に係る広報啓発活動を官と民が連携して実施することになっています。

2019年5月には『自転車通勤導入に関する手引き』(図1)を作成しました。手引きはホームページ(<https://www.jitensha-kyogikai.jp>)でも公開しています。

2 「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクトの創設

本年4月3日には、企業活動における自転車通

勤や業務利用の拡大を目指した取組である「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクトが創設されました。その内容は以下の通りです。

(1) 目的

本宣言プロジェクトは、自転車通勤を推進する企業や団体に対する認定制度の創設により、自転車通勤を積極的に推進する事業者の取組を広く発信し、ひいては企業活動における自転車通勤や業務利用の拡大を図ることを目指しています。

また同日付で「宣言企業」の募集が始まりました。

(2) 「宣言企業」の概要

自転車通勤を認めている企業または団体に対し、自転車活用推進本部長が「宣言企業」を認定します。宣言企業の認定要件は、自転車通勤する従業員に対し以下の3項目すべてを満たす企業・団体です。

①従業員用の駐輪場を確保

②交通安全教育を年1回実施

③自転車損害賠償責任保険等への加入を義務化

期間は5年間有効(更新可)とします。宣言企業の認定ロゴマーク(図2)は、自社のホームページや名刺などに使用することができます。

(3) 「優良企業」の概要

宣言企業に認定されている企業のうち、以下の要件を満たしている企業を「優良企業」として認定し、本部長が表彰します。

自転車通勤者が100名以上または全従業員の2割以上を占め、以下の1項目以上を満たし、かつ独自の積極的取組を行っていること。それらを踏まえ、地域性を含めて総合的に勘案し、特に優れた企業・団体が認定されます。

①定期的点検整備を義務化

②盗難対策を義務化

③ヘルメット着用を義務化

④その他自転車通勤を推進する取組

(通勤手当支給、ロッカー・シャワー等の自転車利用環境整備等)

期間は宣言企業の有効期間(更新可)とします。優良企業の認定ロゴマーク(図3)はイメージアップを図るため自社のホームページや名刺などに使用することができます。

詳細については、前記の自転車活用推進官民連携協議会のホームページをご覧ください。



図1 自転車通勤導入に関する手引き



図2 宣言企業認定ロゴマーク



図3 優良企業認定ロゴマーク

「道路標識設置基準・同解説」及び「道路標識構造便覧」の発行並びに勉強会の実施について

全標協標識委員会

本年6月に「道路標識設置基準・同解説」及び「道路標識構造便覧」が公益社団法人日本道路協会から発行されました。

「道路標識設置基準・同解説」は、道路標識設置基準の運用及び道路標識を設置する上で考慮すべき事項について解説を加えたものとなっています。また、「道路標識構造便覧」は、道路標識設置基準のうち、設計、施工及び維持管理についての標準的な手法を示した手引書となっています。

従来の「道路標識設置基準・同解説」が発行された昭和62年1月以来、標識令は30回を超える改正が行われ、道路標識設置基準も平成27年と令和元年に改正されています。また、国土交通省に設けられた有識者で構成する「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」の提言が、平成16年に出されています。今回発行された2冊は、これらの改正点や上記提言を踏まえたものとなっています。

いずれも、道路標識を設置する専門工事業社として基本的に熟知しておくべき内容となっており、各支部での勉強会を開催したいと考えています。

○勉強会の開催要領

- 1 主催者 開催を希望する支部が主催し、会場の設営及び運営を行う。
全標協本部は、資料の作成、講師の派遣を行う。
- 2 時期 早急に周知するため本年度内に実施する。
- 3 参加者 各支部に一任する。
- 4 講習時間 道路標識設置計画 2時間
道路標識の構造 1時間30分
構造設計、維持管理 1時間30分
- 5 その他 道路標識点検診断士の資格更新要件として継続学習(CPD)が義務付けられているが、本勉強会はCPD5ユニットに該当する。



夜間の安全走行を
サポートする3Mの
テクノロジー

3M Japan Group
スリーエム ジャパン株式会社
トランスポート・ソリューション セーフティ事業部
〒141-8684
東京都品川区北品川6-7-29
<http://www.mmm.co.jp/ref/>

3M™ 全天候型溶融式路面標示材 3M™ All Weather Thermoplastic (AWT)

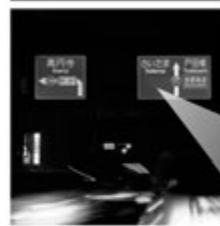


AWTは雨天時の反射エレメントと大粒径ガラスビーズを混合した特殊反射素子を散布することにより、雨天時・晴天時ともに優れた視認性を提供します。



カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-012-123
ナビダイヤル市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)
3M、ダイヤモンドグレードは3M社の商標です。

3M™ ダイヤモンドグレード™ DG³ 超高輝度反射シート(広角プリズム型フルキューブ)



3M™ ダイヤモンドグレード™ DG³ 超高輝度反射シートは、マイクロリプリケーション(高精細表面)技術によってほぼ100%の反射面をもつ夜間でも明るく見やすい、反射シートです。



北陸支部事務所移転のご案内

北陸支部事務局長 大上戸文男

○事務所移転の経緯



新事務所 (辻ビル5階)

当北陸支部の事務局である富山県安全施設業協会では、新しい令和という華やかな雰囲気のある年号が始まった昨年、富山県協会の将来的な事業運営の見直しを図るため、事業改善検討委員会を組織し、事業の見直し、部会活動の活性化、賛助会員の勧誘などを検討した結果、県土木など関係機関との密接な関係を結ぶためにも県庁付近が適切な場所として、富山県庁まで約400mの場所に移転しました。

この移転地は、平成4年にビルの解体立ち退きにより移転した前々事務所とほぼ同一地点で、富山土木センターまで約400m、富山市役所まで約500m、JR富山駅まで約800m、国交省富山河川国道事務所まで約1.5kmの立地条件で、春には県庁前松川の遊覧船、富山城址の桜並木、全国チンドンコンクールなどの多彩な行事が行われる中心部です。

○事務局員の紹介

写真の蜃気楼は、明歩谷職員の住む「蜃気楼が見える街」魚津市から黒部市方向を撮影したものです。蜃気楼は海面付近の大気の温度差によって光が屈折を起こし、遠方の風景などが伸びたり、反転した虚像が現れる現象です。魚津市では蜃気楼が出た場合は、花火で発生を知らせてくれます。蜃気楼は年間10～20回程度発生しますが、その中には双眼鏡でようやく識別できる程度のものも多く、実際に肉眼

で楽しめるものは、年間、5回あるかないかです。もし、観光に来られるのなら発生が多い5月がお勧めです。タイミング良く花火が鳴った場合は、急いで海岸に行き、双眼鏡又は望遠カメラを持っている人をお願いして説明を受けることをお勧めします。

(動画:<https://www.youtube.com/watch?v=hdvIoP607tI>)

また、魚津埋没林博物館の受付で記念の「蜃気楼発見証明書」をもらうこともできます。



蜃気楼発生直前



蜃気楼発生中

この写真に写っている灯台から徒歩約15分で事務局長の自宅です。黒部市は「名水の里」と呼ばれ、立山連峰の雪解け水が流れ出した黒部川により扇状地として地形をなし、地下水となった水は、扇端部で清水(しょうず)と呼ばれる湧水郡となって地表に現れ、この地下水は日本名水百選に選ばれており、この地域の家(筆者宅を含む)の多くは生活水として無料で飲んでいきます。

○富山県の紹介



次に、富山県について紹介いたします。この写真は、「雨晴海岸から望む立山連峰」で、全標協の支部紹介及び富山県協会ホームページの巻頭に使用されている写真で、富山湾越しに望む立山連峰の雄大な眺めは、日本を代表する美しさです。

海越しに3,000m級の山脈を望めるのは世界で次の3ヶ所といわれており、1. イタリアのベネチ

2. 中国のチベット
3. 日本(富山県)の立山連峰

アから見えるアルプス山脈 2. チリのバルパライソ市から見えるアンデスの屋根 3. 雨晴海岸から見える立山連峰

年間を通じて見えるのは(1と2は実際には見えない。という話も!)、ここ雨晴から氷見の海岸にかけてだけ!ということだそうです。したがって、この眺めは通常見ることができる、世界で唯一の場所という事になります。

○黒部立山アルペンルート



立山黒部アルペンルートは、富山と長野県信濃大町を結ぶ、日本の屋根、北アルプスの懐をケーブルカーやロープウェイ、トロリーバスなどの特徴ある乗り物を使い継いで気軽に縦断することのできる、世界有数の山岳観光ルートです。

3,000m級の山々が連なり、雄大なパノラマが眼前に迫るこの地は、国内で初めて認定された三つの氷河や天然記念物のライチョウなど貴重な大自然の宝庫。雪の大谷で始まる春の幕開けから新緑、紅葉、新雪と鮮やかに移ろいゆく四季を感じてほしいと思います。

アルペールートの玄関口である立山駅からは、ケーブルカーで標高差500m、平均勾配24度の坂を美女平駅まで上がります。このケーブルカーの後ろには、黒四ダム建設資材を搬送していた名残として大きな貨車を連結しており、現在も大型貨物の搬送用として利用されています。

次に乗るのは、立山高原バスです。自然環境に配慮したハイブリットカーで美女平駅から室堂駅までを日本一高額である有料道路を通り標高差1,500mを上がります。途中の称名滝が見えるところでは、車窓から



車して眺めさせてくれます。

バスの観光案内では落差350mの日本一の滝と紹介されますが、実際には4段で日本一ということですが、隣のハンノキ滝は雪解けの春先のみの滝ですが、落差500mの滝となっています。

開通直後の時期には、道路を除雪した後の10m以上にも達する雪の壁をバスが通り抜ける「雪の大谷」の光景は壮観の一言です。

どうしたらこのように除雪ができるのか?雪の壁を間近かで見る迫力は想像以上です。

終点の室堂駅からはすぐ近くなので、4月から6月までの間でしたらダイナミックな雪壁の中を歩くことができます。しかし、5月後半に



なると雪原は、黄砂により縞模様となりますので、ゴールデンウィークの「雪の大谷ウォーク」をお勧めいたします。

次は、日本最高所の山岳トンネルで、立山連邦の主峰雄山の直下を大観峰駅までの3.6kmを走り抜けます。乗り物は、日本で唯一この場所でしか運行されていない架線からの電気で走るトロリーバス(見た目はバスですが、正式には無軌条電車という鉄道)に乗ります。このトンネルを通り抜けるのに要する時間は約10分ですが、途中にある破碎帯(大量の冷水と土砂が噴出する断層)の50mを突破するのに約13ヶ月を要し、トンネルを貫通するのに5年の歳月を要したという、難工事であったということを感じていただけたらと思います。

次は、大観峰駅から黒部平駅を結ぶロープウェイです。このロープウェイは、途中に支柱の無い(豪雪による雪崩などにより支柱が建設できないため)、日本最長のワンスパンロープウェイで黒部湖や後立山連峰を一望できる「動く展望台」といわれ、全長1,710m標高差500mの眼下に広がる眺望、溪谷の深さを満喫することができます。



次は、黒部平駅から黒部湖駅を結ぶケーブルカー

です。このケーブルカーは昭和44年の開業から現在も使用されており、日本で唯一の全線地下式(景観保護及び豪雪による被害防止のため)で運行されるケーブルカーです。

黒部湖駅から徒歩でトンネル内を抜けると黒部ダム(通称:黒四ダム)の堰堤に出ます。大自然の中、幾多の困難を乗り越えて昭和



38年に完成した世紀の大事業「黒部ダム」は、高さ186m、長さ492m、日本最大のアーチ式ドーム型のダムです。毎秒10トン以上の水を吹き出す豪快な放水口を間近に見る眺めは迫力満点で、まさにアルペンルートのハイライトにふさわしい景観です。

また、最高標位1,448mの黒部湖を30分かけて一周する遊覧船は、日本で最も高所を運航する遊覧船で、湖上からしか見る事の出来ない隠れた名所や足では踏み入れる事の出来ない山々をすぐ近くで見ることができます。

黒部ダム駅から扇沢駅までは、電気バスで赤沢岳の直下の関電トンネルを5.4km走ります。途中の破碎帯は、80mを突破するのに約7ヶ月を要し、大勢の犠牲者を出した世紀の難工事として、石原裕次郎主演の「黒部の太陽」で映画化され、NHKのプロジェクトXでも紹介されました。

扇沢駅からは信濃大町駅経由で長野駅又は新宿駅に向かうことができます。

○筆者が体験したもう一つの黒部ダムへのルート

新緑や紅葉の季節には世界中から多くの人々が訪れる「秘境黒部峡谷」は、日本一深いV字峡谷を黒部市の宇奈月駅から樺平駅までの



間を走る黒部峡谷鉄道のトロッキ電車が有名です。

この黒部峡谷鉄道の歴史は黒部川の電源開発とともに始まり、終点の樺平から先は、一般者は立ち入ることのできない工事用区域で、上流の「黒部ダム」に至る経路は「黒部ルート」と呼ばれ、関西電力のダムや発電所建設のために作られたルートを、現在も維持管理用に使用されています。

高低差200m(50階建てのビルに相当)の豎坑エレベーターやバッテリー式トロッコで通る高熱隧道、全地下式の黒四発電所などがあり、抽選(応募要領は「関西電力のHP」参照)でこのルートを無料体験することができます。



樺平から黒部湖畔までの登山道を歩くと1泊2日～2泊3日かかるロングルートですが、このコースは、3.5時間で黒部湖まで行く地下ルートで、通常体験することのできないコースですので、アルペンルートを体験されたことのある方にお勧めです。

樺平から先は観光ルートではありませんので、ヘルメット着用となります。トロッコ電車を豎坑エレベーター前で降りると、貨物用と人間用のエレベーターがあり、人間用で200m上の坑道に上ります。このエレベーターが80年前(昭和14年)に作られたとは驚きです。



上の坑道からは上部専用鉄道の耐熱仕様の特別車両に乗り換え、黒四発電所に向かいます。その途中に硫黄の匂いが漂う、区間500mの高熱隧道と呼ば



れる地帯でトロッコは一旦止まり、現在でも水で冷やして40度ある高熱隧道を体験させてもらえます。



建設当時は160度を超える過酷な環境下で、放水しながらの作業、ダイナマイトが自然発火するなど超難関工事。当時は戦時下の国策事業で騒がれてい

ませんが、黒四が7年間で171人の犠牲者に対し、黒三では5年間で300人以上の犠牲者であったそうです。

高熱隧道はまさに灼熱地獄。反対に20kmしか離れていない破碎帯は冷水地獄。秘境黒部の驚異を感じさせられます。

次に黒部川にかかる橋梁の仙人谷ダム駅に到着します。下車して多数の犠牲により建設された仙人谷ダム(黒三ダム)を真正面に見学し、周りの黒部峡谷の風景美も楽しめる所です。



次にNHKの紅白歌合戦で、中島みゆきさんがトンネル内で「地上の星」を熱唱した場所に到着すると、「ここで中島みゆきさんが歌いました。」と一旦電車を止めてくれます。壁面には当時の写真パネルが貼られており、発電所関係者では「みゆき広場」と呼んでいるそうです。「他の場所は音が反響するのに、ここだけは地質が違ったみたいで、音を吸収したのでここで歌うことになったんです。」と、案内人が説明してくれました。

次に、全地下式の黒四発電所に到着します。発電所内はピカピカで昭和30年代に建設されたとは思えない古さを感じない所内となっています。ここでは、発電所担当者からの説明を聞き、発電タービン等の所内見学をさせてもらえます。

次は山の内部をインクライン(ケーブルカー)で34度の傾斜、815mを20分で一気に上がります。この中ではコンクリートの壁しか見えませんので、先

程の紅白歌合戦の「中島みゆき」のビデオ映像が流れます。



上部の作廊谷ではマイクロバスに乗り換え

て、黒部トンネルの中を進みます。途中でタル沢横坑口と呼ばれるところに折れ、トンネル工事の土砂を捨てた場所という所に出ます。周りは山また山!この景色は、「裏剣(うしろつるぎ)」と呼ばれ、険しい登山道をたどる人しか目にすることができない景色なんだそうです。黒部トンネルから関電トンネルの破碎帯を経由して走ること40分で、ついに終点、黒部湖畔の黒部ダムに到着します。

見学会の時間自体は3.5時間程度ですが、黒部峡谷沿いの水力発電事業の軌跡を追いながらの濃密な時間ですので、是非、抽選に参加してください。

○その他の観光地

ここまで筆者の周りのみを記述させていただきましたが、富山県には世界遺産の「五箇山合掌造りの集落」(南砺市)、ユネスコ無形文化財の「高岡御車山祭」(高岡市)、「城端曳山祭」(南砺市)及び「たてもん祭り」(魚津市)や国宝「瑞龍寺」(高岡市)のほか、日本三大大仏の「高岡大仏」(高岡市)、「おわら風の盆」(富山市)、「ほたるいか観光」(滑川市)、「チューリップ祭り」(砺波市)など、沢山の観光地がありますので、是非、お立ち寄りください。



会 員 紹 介

関東支部栃木県協会

本年4月より新入会となりました**宇都宮塗料工業株式会社**(栃木県宇都宮市)をご紹介します。

Q) 創業は？

・昭和51年(1976年)10月になります。

Q) 社員数は？

・29名です。

Q) 主な営業内容と得意分野は？

・交通安全施設工事・塗装工事他で得意分野は標示工事です。

Q) 社長になられてどのくらいになりますか？

・平成30年11月ですので、1年半の新米です。

Q) 社長の経営方針、社員に期待することは？

・経営方針

「基本原則にかえり、決めたことを継続する」というテーマ

1. 技術は人格の上に立つ。基本的な人間力を磨き、さらなる技術向上を目指す。

2. 経営理念体系の見直しと、考える力を身につけて協力しあうチーム(会社)を創る。全員で理念、ビジョンを創りだし、ワクワクしたやりがいのある仕事環境を構築する。

・社員に期待すること

1. 公共の仕事をするということは、常に誰かに「見られている」という認識をもって行動してほしい。

2. 交通安全や生活する人、働く人の生活や仕事環境の安全、安心の向上に貢献する仕事であるということに誇りをもって目の前のことにあたってほしい。

Q) コロナウィルスの影響は？

・現状ではあまりありませんが、今後の公共事業発注がどうなるのか不安です。

Q) 昨年5月、大津市で園児を巻き込む交差点事故が発生し、幼い命が犠牲となってしまいました。交通安全施設業が社会に果たす役割をどうお考えでしょうか？また、道路付属施設の点検の重要性を指摘されておりますがそちらについてもいかがでしょうか？

・栃木県では交差点での交通安全対策工事に関して早急に工事発注がありました。期末の繁忙期でしたが、こういう時こそ私たちが発注者様に寄り

添い、地域の皆さまのために安全に工事施工をすることが大切であることを社内に伝え、何とか工期までに引き渡しことができました。交通事故での犠牲者は少なくなっていて、今までの業界の貢献は多大なものであると思います。しかし、そこに胡坐をかいては交通安全施設業に対する信用、信頼はなくしてしまうと考えます。現場の皆さんは朝早くでも暑い中でも、一所懸命にラインを引いてくださいますが、その先には「人の命を守っている」という健全な価値観の下で仕事をさせていただくことで、社会のお役に立てると思います。トンネルなどの公共施設の陥落など大規模な事故が起きていることも鑑みて、道路付属施設の点検は人の命を守るという面からも、絶対に必要なことだと思います。しかしながら、ただやるだけの点検業務ではなく、交通安全施設業としての正しい知識や経験が重要であると思います。

Q) 若い人材が少ない中、どのような対応をされておりますか？

・新卒採用(特に高校生)に力をいれて、できれば毎年1名は採用したいと考えています。

Q) 協会に対して一言いただけますか

・先代の父が生前大変お世話になりました。頑固者なので、一度退会してしまいましたが、再度入会の認証をいただきましてありがとうございます。現場も分からず、事業も分からずの者ですが、皆さんから教えていただいて何とか宇都宮塗料工業を永続させていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

区画線、薄層カラー舗装、
案内標識施工

宇都宮塗料工業株式会社
工事部社員



元請・(株)佐藤組様提供



お答えいただいたのは

宇都宮 綾 (宇都宮塗料工業株式会社 代表取締役)

本社は栃木県宇都宮市。父親である先代から会社を引き継ぐ。

野球の思い出

～全標協 倉田紀久夫 業務部次長～

(聞き手 全標協 笠原孝志)

笠原 野球はいつ始めたのですか。

倉田 小学校4年生の時に、部活の軟式野球部に入部してからです。放課後、毎日練習しました。

笠原 その時のポジションは。

倉田 キャッチャーです。

笠原 監督の指名ですか、本人の希望ですか。

倉田 自分が希望しました。

笠原 キャッチャー希望者は少ないと思いますが、どうしてキャッチャーを。

倉田 チームの要であり、試合を動かせるからです。

笠原 中高はどうしましたか。

倉田 中学は、小学校と同じ軟式野球。高校は秋田県立角館高校野球部。県大会はベスト16でした。

笠原 大学はどうしましたか。

倉田 1982年に亜細亜大学の野球部に入りました。練習は大学時代が一番辛かったです。大学日本選手権において準優勝できたことが良い思い出です。

笠原 社会人ではJT野球部で活躍しましたが、どうしてJTを選んだのですか。

倉田 勧誘があったのと、本拠地(仙台)が秋田に比較的近かったので、JTに入りました。

笠原 練習場所は、どんな環境でしたか。

倉田 仙台工場に専用グラウンド、雨天練習場がありました。

笠原 会社の仕事もしたのですか。

倉田 シーズン中はほとんどが遠征、試合ばかりで出社しませんが、シーズンオフは午前中に出社して、業務を手伝いました。社会人野球は、企業の「一致団結」、「士気高揚」が大きな目的であり、社員多数の激励、応援は不可欠です。そのような意味で、一般社員とのコミュニケーションは重要です。

笠原 JT時代は、全国各県に行ったのですか。

倉田 大会や練習試合で30くらいの県に行きました。

笠原 観光をする時間はあったのですか。

倉田 練習や休養で、観光の余裕はありませんでした。

笠原 社会人野球の難しさはありますか。

倉田 大学と異なり、基本的にはトーナメント戦であり、「負けたら終わり」というプレッシャーが常にありました。

笠原 キャッチャーとして辛かったことは。

倉田 配球ミスでピッチャーが打たれ、その結果試合に負けたときは、リードするキャッチャーとして責任を痛感します。

笠原 ところで、野球はどうしてキャッチャーがリードするのですか。

倉田 ピッチャーは投げることに集中したいので、バッターのデータを思い出すことや、球種を考えることから解放されたいと思うのが普通です。時にはピッチャーが自分の投げたいボールを要求する場合があります。

笠原 野球に学んだことはありますか。

倉田 挨拶、礼儀の大切さや、協調性を学びました。また、特に大学時代は、色々な出身地、経歴の学生が、同じ環境で4年間切磋琢磨します。厳しい練習に付いて行けず、脱落する者も少なくないのですが、4年間一緒に頑張った仲間は、いつも助け合った「戦友」であり、人生の糧となりました。彼らとは今でも付き合っています。

笠原 現在も野球をしていますか。

倉田 今は草野球もしていません。専らゴルフです。

笠原 ありがとうございます。



お知らせ

入会

- (株)水都交安 (関東支部)
代表取締役 小池 敏夫
〒311-1201 茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦町1434-3
TEL029-265-7806 Fax265-9263
- (株)リキ・トラフィック (関東支部)
代表取締役 馬杉 力也
〒333-0834 埼玉県川口市安行領根岸1153-1
TEL048-284-4807 Fax287-2118
- アジアテック(株) (関東支部)
代表取締役 坂本 誠
〒283-0811 千葉県東金市台方1391-4
TEL0475-50-1322 Fax50-1323
- 東総工業(株) (関東支部)
代表取締役 保坂 正彦
〒289-0517 千葉県旭市萬力1159-1
TEL0479-60-6690 Fax60-6691
- (株)アベックス (中部支部)
代表取締役 佐藤 笑子
〒435-0015 静岡県浜松市東区区安町315-2
TEL053-545-5435 Fax545-5625
- 丸一物産(株) (中部支部)
代表取締役 古橋 利雄
〒430-0917 静岡県浜松市中区常磐町141-16
TEL053-454-5401 Fax453-8018
- 三岡商事(株) (関西支部)
代表取締役 三岡 祥之
〒630-8441 奈良県奈良市神殿町630
TEL0742-62-0635 Fax61-6640

代表者変更

- (株)大宮ホーロー北海道製作所 (北海道協会)
代表取締役 甚内 敏博→甚内 祐亮
- 日綱道路整備(株)東北支店 (東北支部)
支店長 横田 明憲→柿沼 英治
- 秋田ライン興業(株) (東北支部)
代表取締役 齊藤 浩→藤井 龍夫
- (株)フジペン (東北支部)
代表取締役 藤井 龍夫→藤井 龍太郎

- 光進産業(株) (東北支部)
代表取締役 武田 市則→齋藤 秀男
- 信号器材(株)福島営業所 (東北支部)
所長 坪井 修一→小野寺 孝
- 双葉ライン(株) (関東支部)
代表取締役 御厨 正敬→北條 勝政
- (株)クオンテック (北陸支部)
代表取締役 並木 成徳→種村 成徳
- (株)四国ライン (四国協会)
代表取締役 和田 久司→井上 雄介
- ウカテック(株) (四国協会)
代表取締役 小森 高敏→伊東 均
- 鹿児島道路サービス(株) (九州協会)
代表取締役 上原 徳正→上原 毅

住所等変更

- エコライン(株) (北海道協会)
北海道札幌市清田区真栄363-51
- 信号器材(株)東北営業所 (東北支部)
〒982-0032 宮城県仙台市太白区富沢字宮崎64 12B-58L
- 協積産業(株) (東北支部)
〒020-0616 岩手県滝沢市木賊川409-3
- (株)ナカセン (東北支部)
〒014-0207 秋田県大仙市長野字柳田69-1
TEL0187-56-2262 Fax56-2199
- (株)日装 (関東支部)
〒370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸121
- (株)ムック (九州協会)
熊本県熊本市東区若葉6-12-8

広報・教育委員会委員

(トラフィックサポーター編集担当)

委員長	松村みち子		
委員	石川 盛昭	磯兼 忠	宇佐 孝之
	大北 良弘	太田 昭雄	岡根 隆資
	小畑 菅一	笠原 孝志	鎌田 洋一
	菰田 潔	大上戸文男	塚田 哲也
	辻野 善久	中野 英樹	中村 弘一
	南雲 靖秀	前田 年輝	(五十音順)
事務局	村上 寿一		

現場に信頼を、
将来に笑顔を。

未来に安心を

建退共

建退共は国が作った制度
労働者のための退職金制度です。

国がつくれた退職金制度なので安心かつ確実！制度説明動画配信中

建設業界の皆様へ 10月は加入促進強化月間です

建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

建退共の掛金が電子申請で納付可能になります！

<ul style="list-style-type: none"> ◎法律に基づき運営される国が作った制度 ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価 ◎国からの財政上の支援(国の助成により掛金の一部が免除) 	特長	<ul style="list-style-type: none"> ◎掛金は全額非課税(損金または必要経費に算入できません) ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給 ◎加入の手続きは簡単(各都道府県の建退共支部で加入)
---	----	---

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主
- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方
- 掛金は一日310円